

Elazzo

SEAT COVER



MAZDA

CX-8

専用シートカバー取付説明書

7040_7042

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

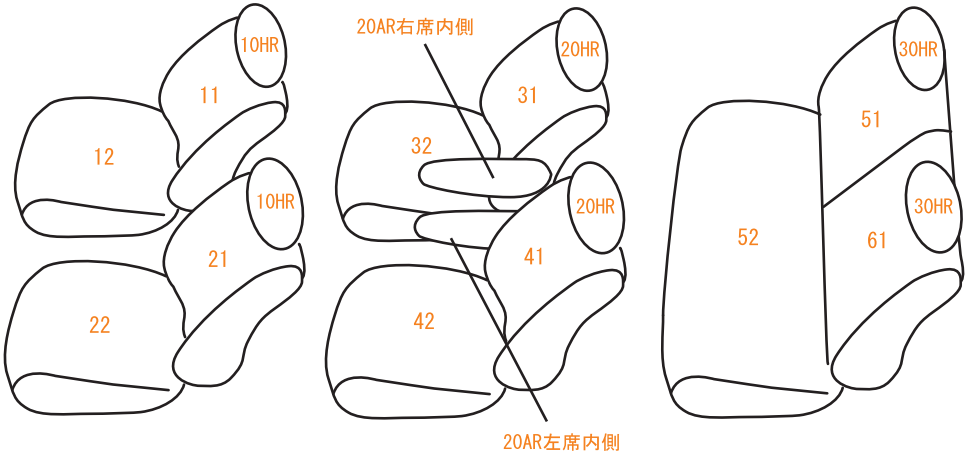
…> 05-25

シートカバーの装着方法

…> 26-27

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (17mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りの過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** 初めに、シートの高さを最大まで上げておきます。
※パワーシートのみ



- 4** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 2** カバーをシート全体にかぶせます。



- 5** シート外側の角にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。



- 3** 座面と背もたれの間隙に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6** シートの角を持ち、奥へ生地を入れ込みます。入れ込んだ後はヘラ等で、シートのラインに沿うように生地をならします。



○部分に体重をかけながら側面を入れ込むとラインが綺麗に

- 7** カバー外側に付いている固定用部材をヘラ等を使用して入れ込みます。この際、座面の中心部に体重を乗せながら行くと、側面のラインがずれずに綺麗に仕上がります。



純正表皮

- 10** 5ページ4番で引き出した生地が付いているバックルに9番のベルトを通して固定します



配線に注意

- 8** カバー前側に付いているベルトをシート裏を通して、背面に回します。シート裏には配線がある為、配線をかかわないようにベルトを通して下さい。
※手動シートは7ページ15番を参照して下さい。

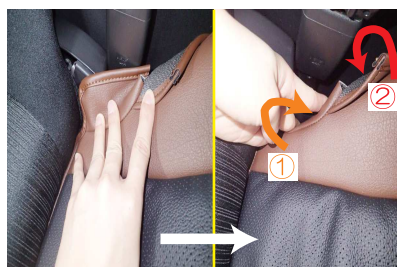


- 11** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



純正表皮

- 9** 背面の純正表皮の隙間から8番のベルトを引き出します。



- 12** カバー内側（後ろ側）の縫い重なっている生地を図の順番でシートの隙間に入れ込みます。



- 13** カバー内側（前側）には固定用部材が付いています。ヘラ等を使用してシートのプラスチック部分に入れ込みます。隙間が大変狭いので、シートを前後させて入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 14** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。



- 15** 助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けを行って下さい。助手席と運転席手動シートにはシート裏にスライドバーがある為、ベルトを背面に回す作業を行う際は、必ずスライドバーの上を通して下さい。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



- 1** カバー背面のファスナーを開き、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 2** 生地伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5** 生地を内へ寄せながら、背面のファスナーを閉めます。ファスナーの余った部分はカバーの内側へ入れ込みます。



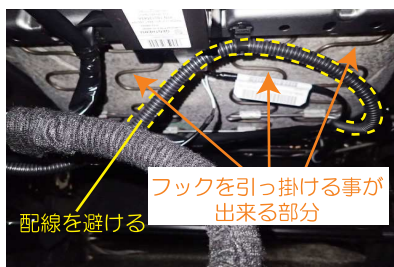
- 3** 座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6** 図の①～③の手順で、カバーをシートに馴染ませます。①シートラインに沿わせるように生地を流します。②余った生地を中心へ寄せます。③寄せた生地を下に流して、4番と同様に背面から引き出します。全体的にたるみや浮きがなくなるまで、この作業を繰り返して下さい。



- 7** 8ページ4番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下の裏側に付いているマジックテープを留め合わせて固定します。



- 10** 図はシート裏を前側から見た図です。固定をする位置に決まりはありませんが、配線に干渉しないように、生地が程よく張る程度の位置で固定して下さい。



- 8** カバー背面下に付いているゴムに金属フックを付けて、カバーの生地をシート裏へ回します。



- 11** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けを行って下さい。



- 9** 座面下の純正表皮の隙間から手を入れ、シート裏の金属部分に8番で付けた金属フックを引っ掛けて固定します。

Step 3

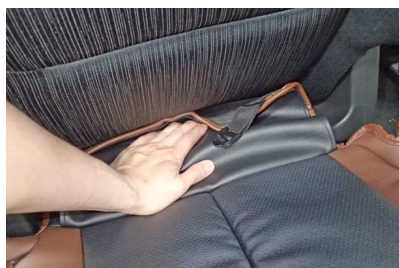
2列目運転席側座面の装着方法



1 カバーをシート全体にかぶせます。



4 カバー側面に付いているゴムに金属フックを取り付けます。



2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む部分の生地は2枚重ねになっていますが、2枚とも一緒に入れ込んで下さい。背もたれの角度を調節して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



5 純正シートのクッションとプラスチックカバーの隙間にゴムを通します。



3 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



6 通したゴムは底面から引き出します。



- 7** シート裏の金属部分にゴムを引っ掛けて固定します。
※シートをスライドさせた時に干渉しない位置に取り付けて下さい。



シート底面にマジックテープを直接貼る

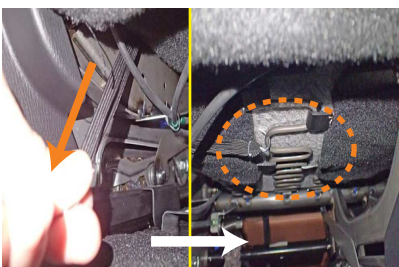
- 10** 内側面の後ろ側を包み込むようにカバーをかぶせます。
カバー端のマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 8** シートベルトバックル部分の生地に付いているゴムに金属フックを取り付けて、純正シートのクッションとプラスチックカバーの隙間にゴムを通します。



- 11** シートベルトバックル部分の生地を入れ込みます。



- 9** 通したゴムを10ページ6番と同様に、シートの底面から引き出して、7番と同様にシート裏の金属部分に金属フックを引っ掛けて固定します。



- 12** カバー外側面の生地に付いている固定用部材をヘラ等を使用して、シートのプラスチック部分に入れ込みます。内側も同様にこの作業を行って下さい。



- 13** カバー前側に付いているベルトをシート裏を通して、背面に回します。



- 16** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けを行って下さい。



- 14** ベルトを通す際は必ず金属バーの上を通して下さい。



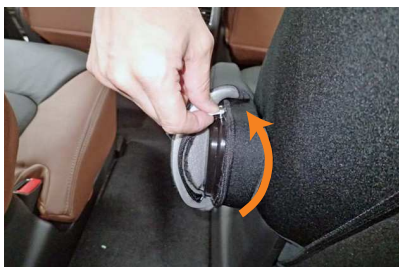
- 17** | SOF | Xを使用される場合は2枚に重なっている上の生地をめくり上げてアンカーを使用して下さい。



- 15** シート背面からベルトを引き出し、10ページ3番で引き出した生地が付いている、バックルにベルトを通して固定します。
詳しいベルトの固定方法は6ページ11番をご覧ください。

Step 4

2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** 最初にアームレストを外します。アームレストの表皮にファスナーが付いているので、中のナットが見えるまで開きます。



- 4** カバー背面のファスナーを開きます。



- 2** ナットをソケットレンチ等を使用して外します。(17mm)



- 5** シートのラインに合わせてながらカバーをシート全体にかぶせます。肩口の生地が張るまでしっかりとかぶせませす。



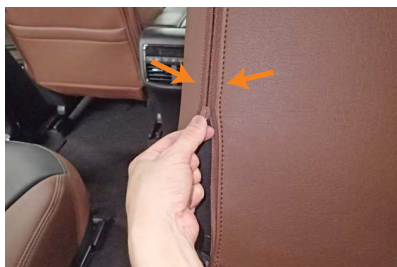
- 3** 外したアームレストとナットはカバー取り付け後に元に戻します。アームレストの装着方法は22ページをご覧ください。



- 6** カバーの加工穴からアームレスト用の軸を取り出します。



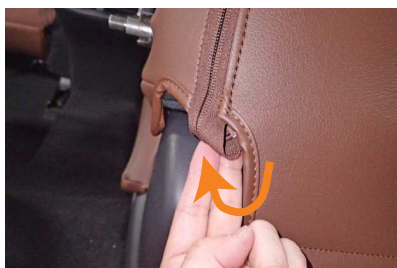
7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



10 生地を内側へ寄せながら背面のファスナーを閉めます。



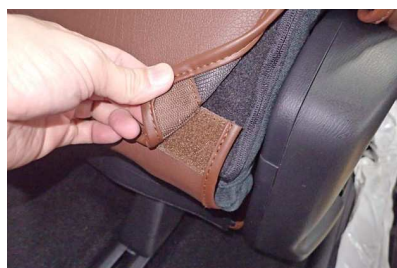
8 背もたれと座面の際間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



11 ファスナーの余った部分はカバーの内側に入れ込みます。



9 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



12 9番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下の裏側に付いているマジックテープを留め合わせて固定します。マジックテープが届かない場合は7番の作業を繰り返して、マジックテープが届くまでカバーを馴染ませて下さい。



- 13** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 16** シート背面のチャイルドシート用アンカーの隙間にヘラ等を使用して生地を入れ込みます。



- 14** 肩口のレバーの隙間にヘラ等を使用して、生地を入れ込みます。



- 17** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。アームレストのカバー装着方法は22ページをご覧ください。



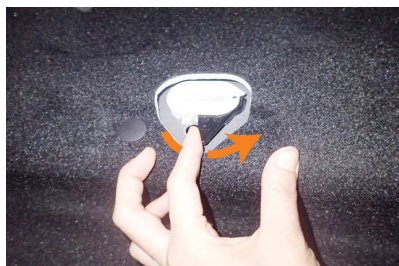
- 15** 生地を全て入れ込むと図のようになります。

Step 5

3列目座面の装着方法



- 1 シートを車体から取り外します。床とシートの隙間に指を入れて、固定しているレバーの位置を探します。(左右合計2ヶ所)



- 2 固定用レバーは図のようになっています。黒い部分を右にスライドさせて、シートを上を持ち上げると固定しているツメが外れます。



- 3 固定が外れると図のようになります。左右1ヶ所ずつこの作業を行います。



- 4 座面奥の固定を外します。背もたれを少し前に倒し、座面と背もたれの間隙間を作ります。



- 5 座面奥は図のようにシート側のフックを、車体側の凸部分に引っ掛けて固定されています。座面を一旦奥へ押し込み、すくうように手前に引くとフックが取り外せます。



- 6 シートが完全に外れると図のようになります。シートは車外へ出して取り付けを行います。



- 7** シートのラインに合わせて、カバーを全体にかぶせます。



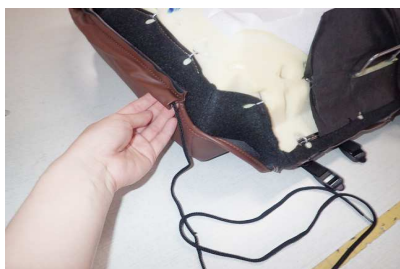
- 10** ヒモを固定すると図のようになります。



- 8** シートの奥側にカバーを引っ掛けます。



- 11** カバーの前後に付いている、ベルトを固定します。ベルトの固定方法は6ページ11番をご覧ください。



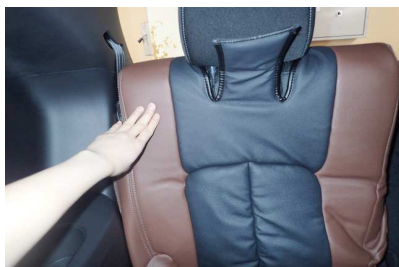
- 9** シートを裏返して、側面のヒモを縛って固定します。
ヒモの結び方、固定方法は24ページをご覧ください。



- 12** カバーのラインを整えて、3列目座面の完成です。3列目の背もたれを装着後、外した逆の手順でシートを戻して下さい。

Step 6

3列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** カバー背面のファスナーと、中央のブラフックの固定を外します。中央の切り込みからヘッドレストを取り出し、全体にカバーをかぶせます。



- 4** カバー背面の加工穴から純正シートのベルトを引き出します。



- 2** ヘッドレストを前に倒して、ヘッドレストの軸の間から、生地を引き出します。



- 5** 背面のファスナーを生地を寄せながら閉めます。ファスナーを閉めにくい場合は、反対側の生地をファスナー側に流すようにして生地にゆとりを作るとファスナーが閉めやすくなります。



- 3** ブラフックを固定します。詳しいブラフックの固定方法は23ページをご覧ください。



- 6** カバー下部の生地をシートの隙間に入れ込みます。



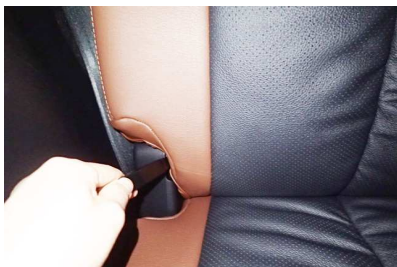
7 図のように座面の軸の上を通して下さい。



10 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けを行って下さい。



8 背面から生地を引き出します。
引き出した生地に付いているマジックテープとカバー背面下部に付いているマジックテープを留め合わせて固定します。



9 左右のヒンジ部分に生地を入れ込み、馴染ませます。

Step 7

ヘッドレストの装着方法

1 列目、2 列目ヘッドレスト装着方法



- 1** カバーを半行程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。
板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



- 4** 底面の前後に付いているプラスチックパーツをはめ合わせ、固定します。詳しい固定方法は23ページをご覧ください。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーを左右均等に引き下げ全体にかぶせます。



- 5** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。
2 列目ヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様に取り付けを行って下さい。



- 3** ヘッドレストをシートから外して、底面のマジックテープを留め合わせます。



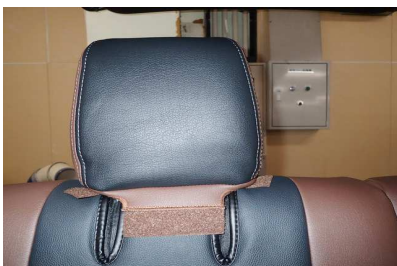
3列目ヘッドレスト装着方法



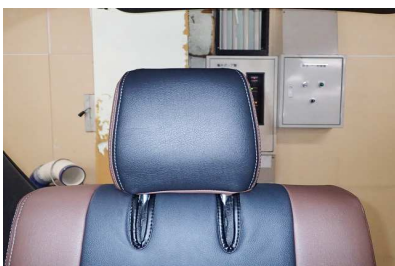
- 1** カバーを半分程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。フワフワのマジックテープが付いている方が前側です。



- 4** 図のように前側のマジックテープが完全に見えなくなるように固定して下さい。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーを左右均等に引き下げ全体にかぶせます。



- 5** カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。



- 3** ヘッドレストを前に倒して、底面のマジックテープを留め合わせます。

Step 8

アームレストの装着方法



- 1** カバーを半行程折り返し、先端がしっかりと張るまでかぶせませす。
※アームレストはカバー装着前に取り外しが必要です。取り外し方は13ページ1番をご覧ください。



- 4** アームレストの外側のカバーをかぶせながら、生地同士を寄せるようにファスナーを閉めます。



- 2** カバーを全体にかぶせて、カバー内側の端を引っ掛けます。穴が開いている方が内側です。この時、外側のカバーはかぶせしないで下さい。



- 5** カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。
助手席側も同様に取り付けを行って下さい。



- 3** 取り外した逆の手順でアームレストを戻します。

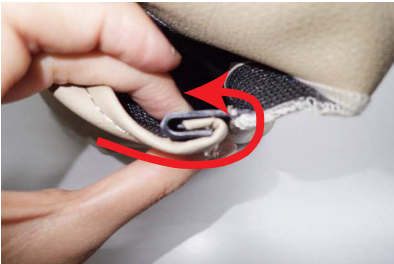
プラフックの固定方法



- 1** ツメ状のプラスチックを図のように、ツメ側が下になるようにします。



- 4** 正しい固定をした図です。生地が板状のプラスチックと一緒に巻き込まれて、ツメ状のプラスチックに固定されています。生地の先端も一緒に巻き込む為見栄えも綺麗です。

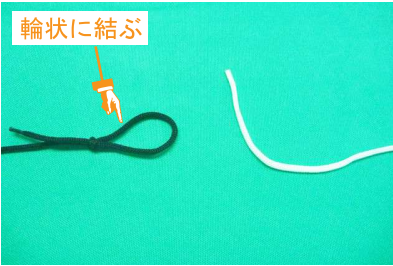


- 2** 板状のプラスチックを生地と一緒にツメ状のプラスチックの中にはめ込みます。

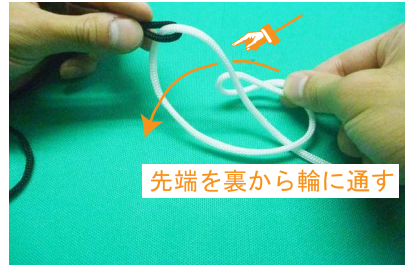


- 3** 間違った固定をした図です。板状のプラスチックが、ツメ状のプラスチックに軽く引っかかっているだけなので、この状態だとすぐに取れてしまいます。

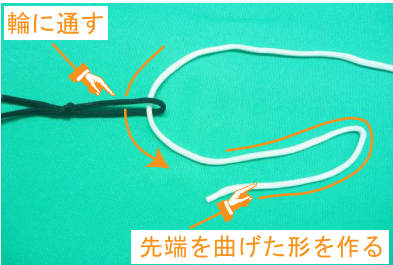
ヒモの結び方



- 1** ヒモの結び方です。片方のヒモを図のように輪状に結びます。※図は分かりやすいように、色の違うヒモを使用しています。



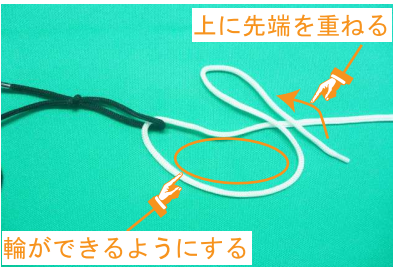
- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



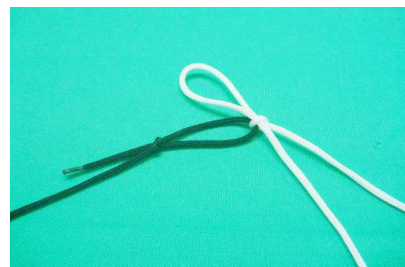
- 2** 輪に、もう片方のヒモを通し、先端を図のような形にします。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のヒモを引っ張ります。逆のヒモを引っ張ると、ヒモが抜けてしまうため注意して下さい。

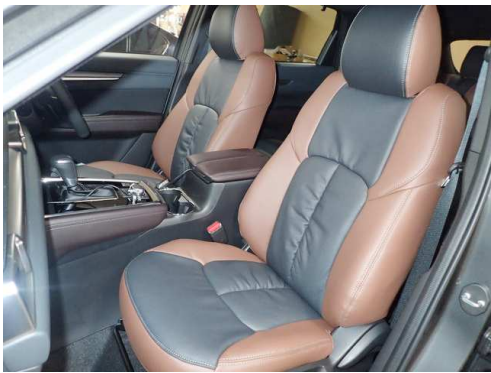


- 3** 曲げた先端を通してきたヒモの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。

完成图





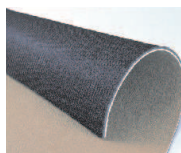
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオは対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミがでけたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほごりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816